

# 兵庫保険医新聞

第1957号

2020年11月5日

発行所 兵庫県保険医協会  
http://www.hhk.jp/

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31  
神戸フコク生命海通ビル5F ☎078-393-1801  
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)  
振替01190-1-2133

(会員の購読料は会費に含まれています)

## 国際部オンライン研究会「大邱市医師会に聞く 新型コロナ対策」

# 切磋琢磨し日韓の患者・国民に尽くす

韓国で新型コロナウイルス感染症を押し込んだのは徹底した検査・追跡・治療と国民協力、そして国民の連帯……。10月24日、協会は韓国の大邱市医師会と協会会議室をオンラインでつなぐ研究会「大邱市医師会に聞く 新型コロナ対策」を開催。金大顯(キム・デヒョン) 啓明大学医学部教授と関復基(ミン・ボッキ) 大邱市医師会新型コロナウイルス対策本部長が講演した。オンライン視聴を含め30人が参加し、集団感染が起きたものの、約2カ月で流行の抑え込みに成功した大邱市の経験を学習した。

金教授は、大邱市の医療関係者の新型コロナウイルス感染症対策について、徹底した検査と感染ルートの追跡、的検査を世界に先駆けて実施し、感染者が使用した地下鉄車両やバスまで特定し消毒等確かな患者振り分けと治療が奏



韓国と中継をつなぎ、(上写真右から)金教授と関先生が講演。会場で17人が参加した(下)



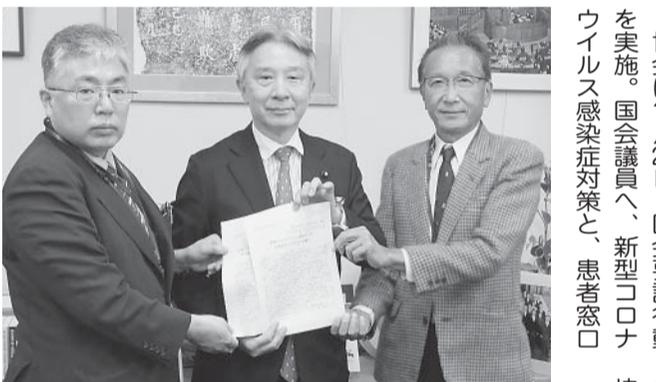
薬局へも「慰労金」支給を 兵庫協会と民医連が県へ要請	2面
審査対策部だより 支払基金における再審査状況(2019年度)	3面
研究 面 保険診療のてびき 見える漢方薬(陰陽五行学説)④	4面

### 兵庫保険医新聞新年特集号 会員投稿募集

テーマ ①続・コロナに思うこと  
②自由題  
締切・字数 12月9日(水) 必着、600字以内  
送り方 メール kuriyama-h@doc-net.or.jp  
FAX 078-393-1820  
お問い合わせは、☎078-393-1807 新聞部まで

報を広くインターネットで公開したと語った。感染者の隔離・治療では、最初の患者が発生してから4日で二つの新型コロナウイルス感染症専門病院、7日目は感染した妊産婦、小児、透析患者専門病院を指定。重症度に応じ、患者の割り振りを行ったと説明した。さらに、医師会長の呼びかけに応じ、医療従事者のボランティアや募金が集まったことを紹介。国民の連帯が重要な役割を果たしたと解説した。

## 10・22 国会要請行動・いのちまもる総行動 医療の公益性を訴え



協会は10月22日、国会要請行動を実施。国会議員へ、新型コロナウイルス感染症対策と、患者窓口の負担の引き上げ中止を要請した。協会から川西敏雄副理事長と白岩ウイリス感染症対策と、患者窓口の心理事が参加。盛山正仁衆議院厚生労働委員長(自民党・上写真)と大門実紀史参議院議員(共産党)、福島瑞穂参議院議員(社民党)が面会に応じた。

## 市営住宅の解体工事で 神戸市がアスベスト 見落とし

### ずさんな事前調査が明らかに

中央区にある市営住宅で神戸市が、危険性の高いアスベストの存在が疑われる箇所を見落としのまま解体工事を進めようとしていたことが10月13日、協会環境・公害対策部と市との懇談で明らかになった。協会は、ずさんな神戸市の対応に強く抗議し、本件に限らずすべての公営住宅の解体工事におけるアスベスト飛散防止策を徹底するよう求め



神戸市によるアスベスト見落としが判明した 中央区の下山手4号棟

当該の市営住宅は、中央区の下山手4号棟で、アスベストが大量に使用されていた70年代に建設されている。市の

アスベスト除去対応に不安を抱いた近隣の診療所からの訴えを受け、協会は春頃から同診療所とともに、神戸市にアスベスト飛散防止の徹底や濃度測定、住民説明会の開催などを求めてきた。

協会は、解体事業主である市の建築住宅局住宅建設課と10月13日に懇談。協会から武村義人・森岡芳雄両副理事長、上田進久評議員が、神戸市から建築住宅局住宅建設課の名倉正人課長と建築係の園部太貴氏、請負の春名建設株式会社と石綿除去業者のK&Sマテリアル株式会社の担当者に参加、神戸市議の松本則子議員と山本純二議員が同席した。

## 第97回評議員会 臨時(決算)総会・第43回共済制度委員会

11月15日(日) 13時～ 協会5階会議室  
・13時～ 第97回評議員会 14時50分～ 臨時(決算)総会  
・15時～ 第43回共済制度委員会・特別報告  
「コロナ禍の金融市場と生命保険業界」  
太陽生命保険株式会社法人営業推進部長 横山 裕輔氏  
・16時10分～ 特別講演  
「菅新政権と 社会保障政策の争点(仮)」  
神戸大学名誉教授 二宮 厚美氏  
お問い合わせは、☎078-393-1817まで



## 燭心

最近頓珍漢なものが多いと感じる。まずは安倍政権以降の政治である。特に新型コロナウイルス対策。医療機関は、政府のミスリードによる患者減や風評被害で大幅な収入減に陥った。国はその対策として、給付金や制度融資で助けてやろうという。確かに一法ではあるが、十分に活用できない情報弱者もいる。残念なことに早々と廃院を決めた先輩方もいる。われわれがこれまで通りやって行ける方法。それこそ協会が求める診療報酬の概算払いであろう。昨年と同じ収入なら誰も困らない。新たな借金をすることもなく、持続可能である。保険者も国も本来予定内の支出であるし、他のどの対策より財政に与える影響は少ない▼GOTOキャンペーンも頓珍漢である。一時的で、偏った恩恵しか与えない。藤井聡京大教授が言うように消費税を引き下げた方が確実である。いっそ廃止しても良い。消費税がなくなれば、税金分が消費に回るから、消費は10%膨らむ。それだけでは止まらない。消費増加の効果は次々に日本全土へと波及する。効果はGOTOキャンペーンの比ではないだろう▼世論も移ろいやすい。明らかに悪い政治を批判しない。モリカケ問題も、桜を見る会も、忘却の彼方である。自分たちの税金が使われているのだと憤らない▼極め付きが大阪都構想である。先人が勝ち取った、都道府県並みの権限を有する「政令市」という権利を放棄するためにわざわざ住民投票をやったのだ。頓珍漢な政治で、今夜の酒は不味くなりそうだ(酔)

(1面からのつづき)  
10・22国会要請

# 医療機関の経営保障と 窓口負担引き上げ中止を

国会議員への要請では、川西副理事長と白岩理事が、①西副理事長は、「国民はコロナ禍で大変な状況下にある。厚労省による、75歳以上の高齢者の窓口負担引き上げ計画は看過できない」と、計画の撤回を求めた。



福島議員(上写真中央)と、大門議員(下写真左)に要請書を手渡す協会役員



などの課題はあるが、要望はしっかりと伝えたい」とし、また、補償の給付について「支給に時間がかかるのは、マイナンバー制度が普及していないことが一端にある。国民に制度への信頼を高めてもらうため、よりいっそう信頼される政治を作っていく」と語った。



「いのちまもる」のプラカードを掲げて集会アピールを採択

が引き下げられる中で医療費負担増は許されない。計画の撤回へ覚悟を挙げて取り組んでいくとした。

## 全国500カ所以上で いのちまもる総行動

同日に日比谷野外音楽堂では、全国保険医団体連合会などは、全国保険医団体連合会など10団体が主催する「いのちまもる 医療・社会保障立て直し! 10・22総行動(国民集会)」が開催され、300人以上が現地会場で参加。オンラインによる同時配信も、兵庫協会を含め500カ所以上で同時視聴された。

<b>会員訃報</b>	
赤松 英男先生	尼崎市 内科
10月21日 享年93歳	
ご冥福をお祈り 申し上げます	

理事會 スポット  
激励訪問、事務局員派遣等の実施が報告された。  
◇医療活動 新型コロナウイルス感染症に関し、①今冬のインフルエンザ流行に備えた外来・検査体制について(兵庫県案)、②発熱等の症状のある方の相談・受診の流れ(厚労省)、③インフルエンザ流行に備えた体制整備等について報告された。  
◇組織強化月間と共済普及対策 現勢が過去最高の7623人、現時点で実増全国トップ級と報告された。  
◇歯科部会 「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会が市民講座「健口と幸福寿命」を開催する(11/3)を開催すること等が報告された。(10月10日 理事会より)

## 歯科定例研究会

# 義歯作製法に 目からうろこ

感想文

歯科部会は、10月11日、協会会議室で定例研究会「保険で良い入れ歯を、総義歯作製編成」を開催。村岡秀明先生(千葉県市川市・むらおか歯科矯正歯科クリニック)を講師に、62人が参加した。志水雄一郎先生の感想を紹介する。



村岡先生が義歯作製法を解説した

私は神戸市長田区で歯科診療所を開業しております。総義歯や部分床義歯の作製や調整で頭を抱えることが度々あります。そんなとき、診療所の机の上に置かれた村岡先生

の著書がそれらを解決に導いてくれたことが、何度もありました。私にとって村岡秀明の本はバイブルとなっています。私か村岡秀明先生の講義に初めて参加したのは、かれこれ10年以上前になります。その講義はコピーデンチャーでの総義歯作製方法だったと思います。その内容は、まさに目からうろこでした。その講義の後から、私の医院での総義歯の作製時にはコピーデンチャーがよく用いられるようになりました。それ以来、村岡先生が関西方面に来られる際は、足しげく講義製する方法も見事でした。ま

きたい」と語った。福島議員は要請に対し、「医療機関の苦しい経営の実態は、一言を読んでよく伝わった。補償拡充について、厚生労働委員会場で強く求めたい」と語った。大門議員は75歳以上の高齢者の負担引き上げに対して、「年金

そして、なによりもすごいのは、村岡先生の講義は、同じ内容がなく、進化し続けるという点です。今回、保険医協会の村岡先生の講義は、私にとって、しかし一年半ぶりとなります。講義の前から、ワクワクして会場まで足を運びました。今回、講義を聴かせていただき、特に面白かった内容は、長年、義歯を入れていない、無歯顎になった方に義歯を下顎から作成するというものでした。私の治療では上下同時装着が基本でした。確かに先生の言われたとおり製作すると簡単に上手にいくことが理解できます。また咬合高径の低い義歯を装着していた患者さんの義歯を新製する際、それを改善しながら製作する方法も見事でした。ま

さに目からうろこです。現在、世界はコロナ禍の真ただ中にいます。オンラインでの講義も多々あるでしょう。村岡先生の講義はオンラインでは絶対にできません。講義内容は非常に分かりやすい動画が中心となり、そこに先生の面白いトークが加わり、大変すばらしいものになっています。今回、改めて、対人での講義の大切さを認識しました。

村岡先生、先生のトークの面白さ、人からの噂によると学生時代、落研だった!?から、とお聞きしました。それ本当ですか!!  
これからも楽しい目からうろこの義歯の講義、よろしくお願いたします。  
【長田区・歯科 志水雄一郎】



敷本健康福祉部長(右端)に要請書を提出

敷本健康福祉部長は、「保険薬局の薬剤師の感染リスクが低いとは思っていない。国に対して要望していきたい」としつつも、「従事者慰労金は国の制度で、それが兵庫県が独自の乗せをするのは財政的にも難しい」と回答。県議からは、神奈川県や佐賀県など県独自の乗せを行っている事例も紹介しながら、改めて県として薬剤師に慰労する姿勢を示すべきだと主張した。

# 兵庫協会と民医連が 県へ要請

## 薬局へも慰労金支給を

医療機関等に支給される「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金」(以下、慰労金)の対象に保険薬局が含まれていない問題について、10月2日、協会は兵庫県民主医療機関連合会(以下、兵庫民医連)と連名で、保険薬局への慰労金支給と新型コロナウイルスによる減収補填などを求める要請書を県に提出した。

日本薬剤師会が行った「新型コロナウイルス感染症拡大による薬局経営への影響調査」では、本年5月の処方箋受付回数が昨年同月比で23・7%減となるなど、保険薬局の厳しい経営状況が明らかとなっている。

「慰労金」は感染リスクのある患者との接触を伴う医療現場において、継続して業務に従事していることへの慰労として給付するものとされており、医療機関と同じく患者との接触を伴い、感染リスクを負っている院外の保険薬局は対象となっていない。

敷本健康福祉部長は、「保険薬局の薬剤師の感染リスクが低いとは思っていない。国に対して要望していきたい」としつつも、「従事者慰労金は国の制度で、それが兵庫県が独自の乗せをするのは財政的にも難しい」と回答。県議からは、神奈川県や佐賀県など県独自の乗せを行っている事例も紹介しながら、改めて県として薬剤師に慰労する姿勢を示すべきだと主張した。

研究所の山口扶佐子代表取締役は、「新型コロナウイルスの影響で長期投薬の患者が増えており、服薬指導がより大切となっている。薬剤師は薬局ではもちろん、在宅にも訪問し、感染対策を徹底しながら対面による服薬指導をしている。医療機関や介護事業所と同様に慰労金を支給していただきたい」と要望。協会も「医師が診察し、処方された薬が服薬指導され患者に届くまでが医療で、本来、医歯薬は一体のもの。近年は多くの医療機関が院外処方となっており、保険薬局を対象から外すことは不合理」と指摘した。

## 審査対策部だより

# 支払基金における再審査状況 (2019年度) 納得できない減点には積極的な再審査請求を

### 医療機関の再審査請求34.9%が復活

審査支払機関(支払基金、国保連合会)より送付される増減点連絡書や、再審査等支払調整額通知票によって、医療機関に診療報酬の減点が通知されるが、減点内容に納得のいかない場合、医療機関が再審査請求によって異議申し立てを行い、その復活を請求することができる。なお、保険者も審査支払機関より送付されたレセプトについて点検を行い、再審査請求を行っている。

支払基金が発表した2019年度の再審査状況(表)をみると、保険者の再審査請求件数908万9,614件に対して、医療機関は26万4,158件と圧倒的に少ない。協会が実施している「会員意見実態調査」でも、納得できない減点に再審査請求を「必ずする」「ほとんどする」と答えた

会員は3割強で、半数以上の会員が積極的には再審査請求をしていない。再審査をしない医療機関の理由では、実務的な手間とともに「再審査請求しても復活しない」との理由も多いが、再審査請求を行い、診療内容の医学的必要性を主張することが、以後の減点を防ぐことにもつながる。実際に医療機関による再審査請求では、「査定となったもの(復活したもの)」が9万2,213件と全体の34.9%が復活しており、納得のいかない減点には積極的な再審査請求を行うことが重要である。

減点相談は協会事務局(☎078-393-1803)までご連絡いただくか、協会の審査相談用紙(協会ウェブサイト <http://www.hhk.jp/member/shinsaitaisakubu/>に掲載)をご活用いただきたい。

表 支払基金における再審査状況 (2019年度)

再審査	保険者	件数		割合
		原審どおり ※減点されなかったもの	査定 ※減点されたもの	
再審査	保険者	原審どおり ※減点されなかったもの	6,667,615	73.3%
		査定 ※減点されたもの	2,386,629	26.3%
		審査返戻	35,370	0.4%
	計	9,089,614		
医療機関	原審どおり ※復活しなかったもの	171,945	65.1%	
	査定 ※復活したもの	92,213	34.9%	
	計	264,158		

先生方、終活とまでは申しませんが、医院の閉院・継承・相続を考えたことはございませんか。やがてはやってくる、いつかは直面する問題です。

協会姫路・西播支部は9月19日、姫路市・じぼさんびるで第35回支部総会を開催。総会では支部役員を改選し、正木茂博先生を支部長に再任した。記念講演では、田中雄司税理士が「医院の閉院・継承・相続の手続き」をテーマに、関連各種制度の説明も、と題して講演し、11人が参加した。小松盛樹先生の感想を紹介する。



閉院・相続の手続きについて  
田中税理士が講演した

もう一つのテーマ、新型コロナウイルス関連の主な補助金等についての

重要ポイントとしては、贈与税は税負担が大きいこと、退職金所得や保険年金の受け取り方、医療法人、相続税対策の解説等々ございましたが、一度ではさすがに理解しにくい内容でした。

そしてスタッフの雇用という点も、忘れてはならない大切なこと。どのタイミングで相続するのがいいのか、開業・廃業の税務上の手続きも学習できました。贈与に対する課税の一覧では、贈与額が多額であればあるほど、びくりするような課税対象額でした。相続時清算課税では、どう対処すれば損失にならないか、税理士の先生に相談するべきかと思えました。

最後に正木茂博支部長より、講師の田中雄司先生に謝辞を述べられ、医院の閉院・継承・相続の手続き等につきましましては、当協会の税務講師団にお声かけをいただきますように、と結ばれました。

最後に質疑応答が数件ございました。その質問の一つに、ネットなどで相談できる税理士を探る際の選ぶ注意などの質問がございました。それに対しては、まず出資、金銭を求めてくるようなケースは注意を払わないといけない、とご指摘いただきました。

【姫路市・歯科 小松 盛樹】

## 感想文

# 発熱時の漢方の効果を再確認

薬科部は10月10日、協会会議室で漢方研究会「見える漢方薬(陰陽五行学説)と新型コロナウイルスの発熱外来の3例」を開催。東大阪市・小阪医院院長の曹桂植先生が講演し、52人が参加した。田下由美子薬剤師の感想を紹介する。

数年前、山中伸弥先生とタモリさんが司会を務める「人体・神秘の巨大ネットワーク」という番組を見て「臓器同士の連絡なんて中医の五臓論と同じこと。やっと西洋医学が追いついたか」と漢方薬大好きな私は生意気なことを思った記憶がある。

今回はその五臓論を「陰陽五行学説・三焦の模式化と表裏五臓循環図」という曹先生オリジナルの図によって、病態と生薬の作用形態を示していただき、大きな収穫となった。特に、肝が発揚(副交感神経様作用)と疏泄(自律神経様作用)のため中心にきて、胃から肝門が裏層として別個に描かれている点が、分



かりやすかった。図では臓器の配置が反相克の円形になっているのを見て、以前「相克とは臓器同士助け合っている形だ。例えば肝を支えてやろうとして脾が疲弊するのが肝と脾の関係だ」と何処かで聞いたことを思い出した。時節柄、COVID-19の発熱外来患者を速攻で治療して成功された曹先生の症例提示もあ

り、「COVID-19もカゼだから発汗を見るまでは3時間毎投与で継続して効かせることが大事」と言われた。

【五虎湯+大防風湯】がそこで使われた方剤で、温病の薬に参耆剤の大防風湯を併せて、肺を清熱しつつ免疫力や体力をつける方剤となっている。

大防風湯も循環図で解説していただき、腎もパワーアップすることで表層の衛気・津液を補うことがよく分かった。

### 初級歯科助手講座

日時 11月29日(日) 10時~16時  
会場 協会5階会議室  
内容 「歯と口腔の基礎知識・診療の流れ」  
「歯科外来における院内感染対策の基礎知識」  
「患者接遇とコミュニケーション—電話対応のポイントも—」  
参加費 6000円(テキスト「デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック」・資料・弁当・飲物代含む)  
定員 50人  
※終了時に、「歯初診」院内感染対策職員研修対応の受講証と、修了証をお渡しします

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1809まで

### 薬科部研究会 関節リウマチの臨床像と分子標的薬の使い方

日時 11月14日(土) 15時45分~ 会場 協会5階会議室  
講師 神戸市立医療センター中央市民病院総合内科医長 住友秀次先生  
共催 ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社、小野薬品工業株式会社  
Zoom視聴希望者は、[kusunoki@doc-net.or.jp](mailto:kusunoki@doc-net.or.jp)へ、メール件名「11/14薬科部研究会Zoom視聴」、本文に①医療機関名②お名前③電話番号を記載し送信。来場参加(定員50人)をご希望の方は☎078-393-1840まで

## 医学部受験 MEP

幼児から大学受験生まで

家庭教師派遣 関西一円対応 個別指導予備校 地下鉄天満橋駅徒歩5分

実績のあるプロ講師のみ 今月のワンポイントアドバイス

基礎力重視の指導と 最適な合格ロードマップの提示 来年度入試について

お受験から大学受験まで あらゆる学年に対応 詳細はMEP特集記事へ <https://www.mep-jp.com/blogadvice>

まずはお問い合わせください ~個別相談 実施中~

06-4309-6515 <https://www.mep-jp.com>  
FAX 06-4309-6520 [info@mep-jp.com](mailto:info@mep-jp.com)



# 保険診療 のてびき

-731-

## 見える漢方薬（陰陽五行学説）（上） —新型コロナウイルスの発熱外来の3例—

東大阪市・小阪医院 曹 桂植先生講演

### はじめに

小生は処方証、処方生薬の性質、作用形態を図示し、可視化できないものかとずっと考えていた。最近、陰陽五行学説の勉強をしていて、この学説の中に“五臓の生理的な巡り”が存在することが判明した。この“五臓の生理的な巡り（五臓循環図）”を使用して処方証（病態）の可視化、処方生薬の作用形態の可視化を試みた。

①処方証の可視化は臓器の寒性を青色、温性を赤色、および、五臓の気機失調を点線として五臓循環図に示し、処方証の病態として表現した。②処方生薬の作用形態は処方証の異常な五臓循環図に対して、複数の生薬を帰経、性味に従って図示すると、五臓の巡りの改善を図っていることを視覚的に認識できる。

### 陰陽五行学説と表裏五臓循環図

陰陽五行学説の陰陽五行図は従来から臨床の実際には即しておらず、陰陽五行図を使って診断し、治療に生かすことは困難と言われている（図1）。しかし、見方によっては陰陽五行図は巧妙に考えられたシステムと思われる。五臓の各臓器の気や血の“大過（過剰）”、“不及（不足）”のバランスを取るための自動調節システムである。

“五臓の生理的な巡り（五臓循環図）”は反相克の流れである。気血の生成、全身全細胞への配送は五臓の働きにより行われ、いずれも重要な臓器である。肝の働きは特異で、気血の生成、配送のいずれにも関わっている。五臓循環図は肝の副交感神経様作用、交感神経様作用を加味して作成した。さらに表層、裏層（消化管）を加えた図を作成し、表裏五臓循環図とした（図2）。

### 三焦の模式化と表裏五臓循環図

三焦は解剖生理学的には間質液スペースにほぼ一致している。間質液スペースは全身、全細胞と毛細血管網との間に存在し、栄養物質、酸素、ホルモンなどを供給、代謝産物を回収する通路となっている。毛細血管網は括約筋（自律神経）によりコントロールされている。間質液スペースは体重の15%にもおよぶ巨大な生理機能機構であり、定まった形はみられない（図3）。

少陽三焦経は厥陰肝経とは表裏の関係にあり、脾の運化昇清、肺の宣散粛降、腎の納期、心の推動、肝の

図1 陰陽五行図



図2 表裏五臓循環図

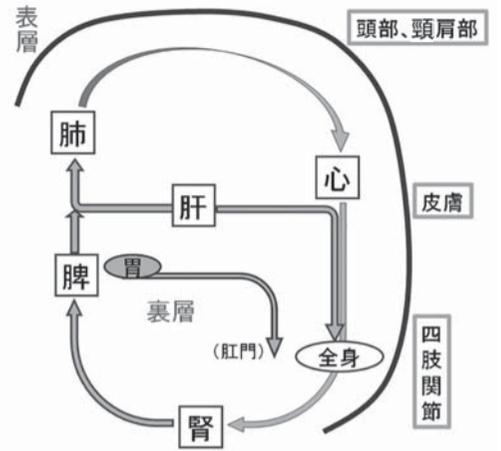


図3 間質液スペースと毛細血管網

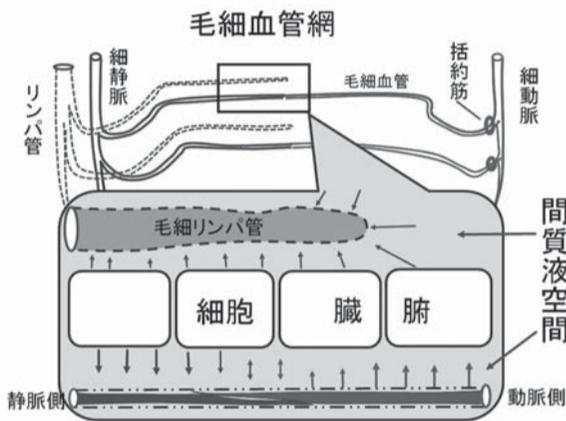
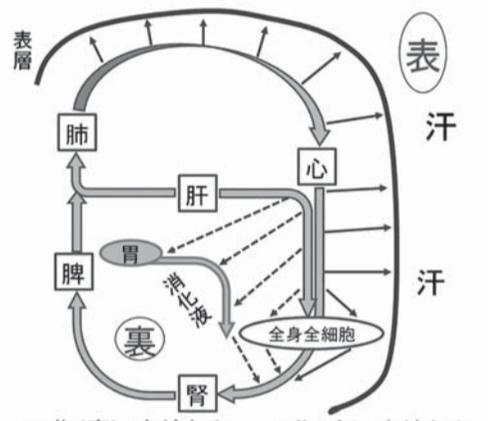


図4 表層五臓循環図と三焦



発揚疏泄作用などの共調により気、津液を全身、全細胞に巡らせ、五臓、六腑の生理的機能を発揮させる。表層には表三焦を經由して衛気、津液を配送して汗を不感蒸発している。裏層には裏三焦を經由して唾液、胃液、胆汁、脾

液、腸液を分泌して、一部の津液を大腸から回収している（図4）。  
（つづく）

## ドクターを支える 保険医協会の共済制度

✓病気やケガの休業に

### 休業保障制度と所得補償保険

新型コロナウイルス感染症も給付対象です

✓死亡・高度障害に

### グループ保険と新グループ保険

✓中長期の資産形成に(次回受付は来年4月1日開始)

### 保険医年金と積立年金DefLデフェル

✓医事紛争に備えて

### 医師賠償責任保険

✓団体割引の

### 自動車保険と火災保険

✓天災や火災、特定感染症による休業損害に

### ビジネスキーパーの休業損害補償

✓三井住友海上あいおい生命の

### 医療保険とガン保険

秋の共済制度募集  
好評受付中!

協会の共済はご加入内容をまとめて管理。  
ワンストップサービスを提供します。

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805



http://www.hhk.jp